

# 横須賀市中小企業景況レポート

第 31 号 (令和 2 年 7 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課  
〒238-8550 横須賀市小川町 11  
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：149社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査135社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和2年1～3月の景況感（調査時点 令和2年3月1日）  
今期・・・令和2年4～6月の景況感（調査時点 令和2年6月1日）  
次期・・・令和2年7～9月の景況感（調査時点                   "                   ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

## 景況及び4項目の調査結果（全業種）

\*DI値調査結果は裏面に記載

\*【 】は今期のDI値を記載

**全業種の景況感は、前期の△16Pから47P悪化し、【△63P】となりました。**

今期は、新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの業種が大幅に悪化しました。特にサービス業【△91P】は、他業種と比べても大幅な悪化となりました。

項目別にみても、雇用人員以外の項目で大幅な悪化が見られました。

次期については、卸・小売業、サービス業は改善が見込まれていますが、建設業は更に悪化する見込みです。

昨年同期（平成31年4月～令和元年6月）の景況感比較は、「悪い」が7割以上を占めています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P 以上)	やや良い (6 P~14P)	変わらない (△ 5 P~ 5 P)	やや悪い (△ 6 P~△14P)	悪い (△15P 以下)
↑	↗	→	↘	↓

## 業種別 調査結果と事業者の声

\*DI 値調査結果は裏面に記載

\*【 】は今期の DI 値を記載

### (1) 製造業 景況感 【 △53P <悪い> ↓ 】 (前期比△31P)

前期と比べ、売上額【△56P】、収益【△56P】、資金繰り【△23P】が、それぞれ 15P、12P、17P と悪化しました。

次期はほとんどの項目で横這いの見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、販売先が在宅勤務や時短勤務等を実施しているため十分な営業活動ができていない。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、部材の調達が滞り工場稼働に支障が生じた。
- ・5月の平日に休業した分を振り替えて稼働する予定。現状、少し回復の兆しは見えるが、今期中の急激な好転は考えづらい。

### (2) 建設業 景況感 【 △40P <悪い> ↓ 】 (前期比△50P)

前期と比べ、売上額【△27P】、収益【△27P】、資金繰り【△30P】がそれぞれ 34P、27P、14P 悪化しました。

次期は、売上額、収益が更に大幅な悪化をする見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症の影響から工事中止や延期が増えた。これに伴い売り上げが激減、工事代金の入金が大幅に遅延したことにより資金繰りが逼迫している。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響でマンションの管理組合等の動きが無く、元請け企業の動きが鈍化したことに伴い受注量・売上ともに減少。
- ・5月までは工期どおりに進捗していたが、6月は新型コロナウイルス感染症の影響から不明確要素が多く、見通しが立たない状況となった。

**(3) 卸・小売業 景況感 【 Δ66P <悪い> ↓ 】 (前期比Δ34P)**

前期と比べ、売上額【Δ69P】、収益【Δ55P】は、それぞれ31P、21P悪化しました。  
次期は、景況が多少改善することに伴い、売上額・収益が改善する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・主力販売先が小中学校だが、非常事態宣言により休校。すでに受注している商品を納入できない状態で、代金未回収が続いている。
- ・不要・不急の外出自粛により常連客の来店が減少。配達等にも力を入れてきたが効果はあまり出ていない。

**(4) 不動産業 景況感 【 Δ65P <悪い> ↓ 】 (前期比Δ51P)**

前期と比べ、売上額【Δ65P】、収益【Δ79P】は、それぞれ36P、79Pと大幅に悪化しました。

次期は、収益で改善が見られるものの、他の項目は横這いの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・来店客が大幅に減少。契約済案件も延期になるなど市況は厳しい。
- ・緊急事態宣言解除に伴い、人の動きが出てきたことから、早期売却に向けて販売を強化していきたい。7月以降、新型コロナウイルス感染症が終息に向かっていると見ており、売り上げ回復を期待している。

**(5) サービス業 景況感 【 Δ91P <悪い> ↓ 】 (前期比Δ80P)**

前期と比べ、売上額【Δ94P】、収益【Δ97P】、資金繰り【Δ58P】は、それぞれ83P、83P、44Pと近年類を見ない悪化となりました。雇用人員【9P】は、46Pと大幅な改善を見せましたが、新型コロナウイルスの影響で人出が無かったことが一因のようです。

次期については、雇用人員以外の項目で改善する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により営業時間の短縮、来店客の減少、団体予約のキャンセル等で大幅な売上減少となる。今後も団体利用、各種イベント中止による季節利用客の減少と厳しい状況は続く模様である。
- ・仕事内容が、訪問による対面サービス業であるため、利用者宅への訪問自粛から売り上げが大幅に減少。事務所家賃、介護士等への労務費である固定費支払いが厳しい状況である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で営業を自粛した。再開後も客足の戻りは鈍く、平常時の売り上げ回復までには時間を要す模様。

DI値 調査結果

前・・・前期 令和2年1月～3月の景況感(調査時点 令和2年3月1日)  
 今・・・今期 令和2年4月～6月の景況感(調査時点 令和2年6月1日)  
 次・・・次期 令和2年7月～9月の景況感(調査時点 令和2年6月1日)



業種別調査企業数(業種別調査企業数(回答数))

(単位:社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	163	36	31	47	14	35
今期	149	34	30	38	14	33
次期	149	34	30	38	14	33

(単位:ポイント)

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	15	9	3	14	6	3	29	13	3	6	13	5	7	14	0	20	0	0
変わらず	54	19	33	50	35	38	52	34	44	56	8	32	72	7	36	49	9	21
悪い(B)	31	72	64	36	59	59	19	53	53	38	79	63	21	79	64	31	91	79
DI値(A)-(B)	△16	△63	△61	△22	△53	△56	10	△40	△50	△32	△66	△58	△14	△65	△64	△11	△91	△79
今-前/次-今	△47	2		△31	△3		△50	△10		△34	8		△51	1		△80	12	
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	15	10	3	6	3	3	26	23	3	13	13	5	0	14	7	26	0	0
変わらず	46	18	33	47	38	32	55	27	44	36	5	37	71	7	22	37	6	21
悪化(B)	39	72	64	47	59	65	19	50	53	51	82	58	29	79	71	37	94	79
DI値(A)-(B)	△24	△62	△61	△41	△56	△62	7	△27	△50	△38	△69	△53	△29	△65	△64	△11	△94	△79
今-前/次-今	△38	1		△15	△6		△34	△23		△31	16		△36	1		△83	15	
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	12	10	3	3	6	3	23	23	0	9	13	8	14	7	7	17	0	0
変わらず	53	19	33	50	32	32	54	27	43	48	19	37	72	7	22	52	3	21
減少(B)	35	71	64	47	62	65	23	50	57	43	68	55	14	86	71	31	97	79
DI値(A)-(B)	△23	△61	△61	△44	△56	△62	0	△27	△57	△34	△55	△47	0	△79	△64	△14	△97	△79
今-前/次-今	△38	0		△12	△6		△27	△30		△21	8		△79	15		△83	18	
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	4	12	9	3	12	12	10	3	7	4	11	3	0	7	7	0	24	15
適正	62	65	70	61	62	64	45	70	76	70	65	71	71	72	79	63	61	67
少ない(B)	34	23	21	36	26	24	45	27	17	26	24	26	29	21	14	37	15	18
DI値(A)-(B)	△30	△11	△12	△33	△14	△12	△35	△24	△10	△22	△13	△23	△29	△14	△7	△37	9	△3
今-前/次-今	19	△1		19	2		11	14		9	△10		15	7		46	△12	
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	9	9	5	11	12	9	16	13	7	4	11	5	7	7	7	6	3	0
支障がない	66	45	51	72	53	53	52	44	56	60	42	50	93	50	43	74	36	48
苦しい(B)	25	46	44	17	35	38	32	43	37	36	47	45	0	43	50	20	61	52
DI値(A)-(B)	△16	△37	△39	△6	△23	△29	△16	△30	△30	△32	△36	△40	7	△36	△43	△14	△58	△52
今-前/次-今	△21	△2		△17	△6		△14	0		△4	△4		△43	△7		△44	6	

<参考>昨年同期と現在の景況感比較(回答139社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	11社	8%	12%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	24社	17%	55%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	104社	75%	33%
DI値(A)-(B)		△67P	△21P

